

令和8年2月8日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙

鳥取県第1区選挙公報

鳥取県選挙管理委員会

比例代表も自由民主党へ



今後の課題

日本経済の新たな成長モデルの確立

コストカット型経済を脱却し、付加価値の創造、賃上げ、投資が牽引するモデルへと転換。

地方創生2.0

「民主導のまちづくり」と「広域リージョン連携」というキーワードのもと、民間企業を主役とした持続性を高めるためのしくみづくり、広域で文化、芸術、学問の場など新しいつながりをもとにした新たな価値創造で、新しい人の流れを生み出す。

政治改革

有権者目線の選挙制度改革

石破しげるオフィシャルサイト
<http://www.ishiba.com/>



石破 茂

(いしばしげる) プロフィール

昭和32年2月4日生まれ、八頭郡八頭町出身、当選13回、鳥取大学附属小・中学校卒業
慶應義塾大学法学部法律学科卒業、株式会社三井銀行行員、木曜クラブ事務局員
農林水産総括政務次官、防衛庁副長官、防衛庁長官、防衛大臣、農林水産大臣
国務大臣・地方創生担当、自民党政務調査会長、自民党幹事長、
前自民党総裁・内閣総理大臣

私は、この国の自律性と持続可能性を取り戻し、すべての人が多様な幸せを追求できる、実感できる国を作っていきたいと思っています。そのために、辛いこと、苦しいことでも、勇気と真心をもって真実を語り、国民の皆様が納得と共感をもつていただく、そのような政治をこれからもめざしていきたい。

地方からの日本創生を鳥取から。もう一度、この原点に戻って、皆様とともに歩んでまいりたいと思っています。

令和六年十月に自由民主党総裁、内閣総理大臣を拝命し、一年余りの任期を務めさせていただきました。初当選から四十年、ひとえに永きにわたるふるさと鳥取の皆様のご支援あつてのことと、ここに改めて感謝申し上げます。

任にあつた二年余り、私自身として、できうる限りのことを進めてまいりました。訴え続けてきた防災庁の設置、避難所の生活環境の改善、自衛官の大幅な処遇改善、米国の関税措置につき、国益を踏まえた関税引き下げ合意の実現、大阪・関西万博とTICA D9（アフリカ開発会議）の成功。

一方で残された課題もあります。コストカット型経済を脱却し、付加価値の創造、賃上げ、投資が牽引するモデルへ転換すること。「民主導のまちづくり」や「広域リージョン連携」により、地方創生2.0をさらに発展させていくこと。農業政策の大転換。ますます不透明さを増している国際情勢に対応するため、さらなる外交戦略も必要です。

「日本創生」を鳥取から！



自由民主党公認
— 前内閣総理大臣 —

石破しげる



ひとりひとりが日本

“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする

の柱 ～経済・産業・移民～

1 “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2 日本人を守り抜く

の柱 ～食と健康・一次産業・エネルギー～

4 **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 エネルギーと資源確保が**生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 **安心医療**で**健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む

の柱 ～教育・人づくり・国家観～

7 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子どもの一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8 **受験戦争**からの解放
偏重価値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 日本は**みんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は**参政党**

とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから！



豊てつや プロフィール 昭和53年生まれ47歳。東京都出身。前参政党公認鳥取県大山町町議会議員。岡山大学理学部卒後コンサルタント等に従事。現在写真撮影会社を経営。【政治信条】日本を改新する。日本人が日本人らしく、幸せを求め、子孫を残し、文化を育める当たり前の日本を取り戻す。



ゆたか

豊てつや

参政党公認

投票日 2月8日(日)

（投票時間は、午前7時から午後8時までの投票所と、これと異なる投票時間の投票所がありますので、お住まいの市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。）

期日前投票 1月28日(水)～2月7日(土)

※最高裁判所裁判官国民審査の期日前投票は

2月1日(日)～2月7日(土)

（期日前投票ができる日時は、期日前投票所によって異なりますので、お住まいの市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。）

令和8年2月8日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙

鳥取県第1区選挙公報

鳥取県選挙管理委員会



鳥取から日本を変える!!

もっと手取りを増やす。もっと笑顔を増やす。

①「もっと」手取りを増やす

- 賃上げを行う中小企業、零細企業の事業主の社会保険料半減
- 16歳未満の子どもがいる親の年少扶養控除の復活
- 仕送り減税の創設で学びたい学生の保護者を支援
- 再エネ賦課金を廃止し、電気代値下げ(2万円程度/年)

② 自分の国は、自分で守る

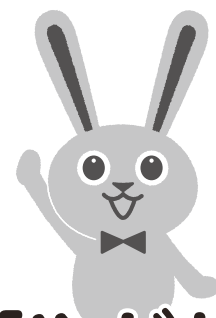
- 中国への依存が大きいレアアース(希土類)の国内採掘やガス田開発を本格化するための「海洋資源開発庁」の新設
- 鳥取の豊かな自然や水源を守る為の外国人土地取得規制の強化

③ 農業者の手取りを増やす

- 安心して農業ができる食料安全保障基礎支払制度の創設(10アールあたり 15,000円+「環境加算」「防災・減災加算」)
- 食料自給率の向上:食料自給率50%の早期実現を目指し、将来的には100%を目標として国内生産力を強化

④【認知症予防とおひとりさま支援】で「健康」長寿社会実現

- 認知症予防運動プログラムで健康寿命延伸
- 地域包括ケアシステムで在宅生活支援



豊かで安全・
安心な日本を
次世代に引き継ぐ

「やがわひろみ」ってどんな人

学歴・資格

- 鳥根大学法科大学院 修了
- 一般社団法人 代表理事
- 特定行政書士 ■ 宅建士
- ファイナンシャル・プランニング技能士 2級
- 消費生活専門相談員
- 認知症予防支援相談士
- 認知症予防食生活支援指導員
- 認知症予防音楽ケア体操指導員
- 防災士

SPEC

健脳と笑顔の伝道師
頭と身体の健康体操♪
笑顔で延ばそう健康寿命!
国益第一
特定のイデオロギーではなく
日本の国益を支持!
気骨様々
不屈のド根性で信念を貫く気概と行動力!
歌好き
ボイトレで歌うま目指し中!



国民民主党公認

やがわ
ひろみ



比例代表は国民民主党へ

くらし

平和

人権

国民のためにブレずにはたらく

比例代表は

日本共産党
くたささい

- ◎ 選択的夫婦別姓制度の実現
- ◎ 男女賃金格差の是正

人権・民主主義を守る

- ◎ 軍事費増額に反対
- ◎ 集団的自衛権行使容認の閣議決定と安保法制の廃止
- ◎ 「スパイ防止法」反対
- ◎ 美保基地の軍事強化に反対
- ◎ 憲法9条をいかにした平和外交
- ◎ 核兵器禁止条約への参加

外交の力で平和をつくる

- ◎ 消費税廃止、5%に。インボイスは廃止
- ◎ 1日7時間、週35時間労働制に
- ◎ 診療、介護報酬増額。窓口負担減
- ◎ 大学などの学費値上げ中止し、半額に
- ◎ 教職員をいやし子どもによりそう教育
- ◎ コメの生産と備蓄量を拡大
- ◎ 原発再稼働、新増設反対、原発ゼロに
- ◎ 中小企業予算の抜本的増額

国民の暮らし第一の政治に

「物価高で余裕がない」「年金暮らしできつい」。日本共産党のアンケートによせられた声です。私は医療職場で働いた経験から命をおびやかす政治を許しません。
高市自・維政権は、世論にそむき、消費税減税、最低賃金引上げ目標をなげすて、大軍拡につきすすんでいます。
私は、暮らしや平和を壊し人権擁護の流れに逆流をもたらししている自民党政変を、大軍拡につきすすんでいます。
私は、暮らしや平和を壊し人権擁護の流れに逆流をもたらししている自民党政変を、大軍拡につきすすんでいます。



日本共産党
塚田
なゆき

紹介 日本共産党

- ➡ 反戦・平和をうめいて104年
- ➡ 企業・団体献金、政党助成金をうけとらない
- ➡ ソ連、中国の干渉をはねのけた自主独立の党
- ➡ 「人間の自由」こそ、社会主義・共産主義の目的



財源は

日本共産党は、大企業や富裕層への減税と優遇をただす「公正な課税」で暮らしを支える財源をつくりまします。

1964 年鳥取市生まれ。県立鳥取東高、法政大学社会学部卒。鳥取医療生協勤務、民青鳥取県委員長、党東・中部地区委員長、現在党県書記長、妻は市谷知子県議

投票所入場券をお忘れなく!

- 無くした場合や、お忘れの場合でも、そのことを投票所の受付に申し出ていただければ、本人確認後、投票できます。
- 18歳未満のお子様を連れて投票所に入ることができます! お子様の将来のために投票について見学するよい機会です。ご家族そろって投票所に行きましょう。

※お子様が投票用紙に記載したり、投票箱に投票用紙を入れたりすることはできませんので、ご注意ください。

